

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」 令和6年度（2024年度）授業等改善セミナー

農業 実施報告



令和6年12月24日（火）、北海道岩見沢農業高校を会場に「農業科における『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善 ～農業の見方・考え方を働かせた授業の充実を目指して～」をテーマとして、授業等改善セミナー（農業）を開催しました。

全道から農業科の教諭等30名が参加し、運営者（指導主事）による「農業科における、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」についての説明後、授業者である岩見沢農業高校森林科学科の高橋健太先生による研究授業、参加者によるグループ協議、まとめを行いました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として活用ください。

実施状況

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名、道教委指導主事1名、大学准教授1名から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を2回実施しました。

<1回目の検討会の主な内容>

授業づくりの前提となる内容を共有

- ・「教材観」…これまでどのような学習（実習）に取り組んできたか
- ・「生徒観」…生徒の進路希望、日常の様子、どのような雰囲気のか

<2回目の検討会の主な内容>

本時の目標とその達成に向けた過程を検討

- ・本時の目標を設定（生徒が身に付けるべき資質・能力は何か）
- ・グループワークまでの流れや想定される協議内容（どのような声かけが必要か）

<授業研究チーム>

[授業者]

- ・岩見沢農業高校 高橋 健太 教諭

[協力者]

- ・旭川農業高校 八俣 応野 教諭
- ・静内農業高校 前道 慶太 教諭
- ・大野農業高校 古川 茂樹 教諭

【研究授業】北海道岩見沢農業高等学校 高橋 健太 教諭（森林科学科1年）

○科目「農業と環境」 単元「暮らしと農業（森林）」（12時間目／14時間）

○本時の目標「森林の持つ働きや、多面的機能と私たちの生活との関連について主体的に捉え、持続可能な森林経営について考えることができる（主体的に学習に取り組む態度）」

○授業展開

- ①前時までの森林の役割についての学習内容の振り返り
- ②実習での体験を基に、自ら感じた「森林の持つ効果」についてICT端末を活用し、まとめる
- ③個人思考を基に、デジタルホワイトボードを活用して、グループ協議を行う
- ④グループ協議後、全体で発表
- ⑤まとめ（森林の多面的機能や、SDGsとの関わりについて）



高橋教諭による説明

学習指導案はこちら



グループワークの様子

【研究協議】「農業科における『主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について』

研究授業後、授業を参観した先生方による個人での授業の振り返り、授業者の高橋先生による振り返りを行った後、グループに分かれ、先生の指導に着目する「How to teach」ではなく、生徒の思考の変容に着目する「How to learn」の視点を重視して、次の柱で協議を行いました。

柱① 本時の目標（ねらい）は達成できたか。

題材や問い、発問は適切であったか。

- これまでの学びと関連付け、森林の持つ役割について、実体験を基に学びを深めていた。
- 教員が生徒の実態や、日頃の実習の取組状況をよく把握できており、発問の難易度等も適切であった。



研究協議の様子

柱② 主体的・対話的で深い学びにつながる授業であったか。

また、農業の見方・考え方を働かせた授業となっていたか。

- 教師自身の自らの体験と、これまでの学びを関連付け、授業を展開したことで、生徒の主体的な取組につながっていた。
- 生徒は実習手帳を効果的に活用し、実習での学びと座学を効果的に関連付け、森林の役割についての学びを深めることができていた。
- グループ協議の際に、デジタルホワイトボードにまとめることに集中してしまい、意見交換や思考を深める時間が少なくなってしまった。

【助言】酪農学園大学 飛谷 淳一 准教授

- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、ポートフォリオや学習管理ツール等を活用し、学習への取組の評価の参考にするとともに、教員側も、日々の授業改善につなげることが重要である。
- 教員自身が、農業の科目に関する最新の知識・技術をもつことは、変化の激しい社会において持続可能な農業生産を実現させるための教科指導につながり、地域を支える産業人の育成につながる。

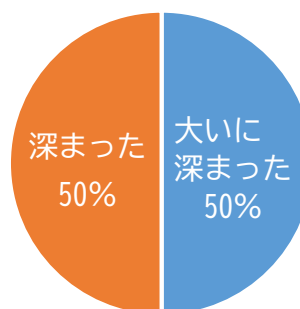
セミナー参加者の声

【参加者の声】

- 実際に学校で指導に当たっている科目だったので、授業に取り入れるイメージがしやすい内容であった。
- 今後も「生徒が何を身に付けたのか、できるようになったのか」を意識しながら、授業で実践していきたいと感じた。
- 生徒と教員がコミュニケーションをとりながら授業を進めていたところが参考になった。
- 今後も授業実践や、農業科におけるICTの活用について学んでいきたい。

【アンケートの結果（一部）】

探究的な学び又は、主体的・対話的で深い学びの充実に関する理解は深まりましたか



今回のセミナーは、あなたの今後の授業改善に役立ちますか

